

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

グループホーム	
事業所名	新賀 (きのこのき)
日付	平成16年8月17日
	特定非営利活動法人
評価機関名	高齢者と痴呆の人のケアを大切にする会
	LIFE SUPPORT推進グループ
	評価調査員 在宅介護経験16年
	在宅介護経験8年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>天然素材をふんだんに使った和風の住まいで、利用者はリビングルームに集まって思い思いのことで過ごしている。「職員と一緒に得意な歌を繰り返し歌っている人」「テレビに入っている人」「七夕の短冊を書いている人」「花を生けている人」など、要介護度の高い人から低い人までそれぞれが自分のしたいことを楽しんでいる。</p> <p>職員は全員に目を配り、何気なく手助けしたり、寄り添ったりしている。「利用者それぞれのニーズに応じたケアを提供し、最期まで看させていただけます。」と頼りがいのある言葉が返ってくる。</p> <p>各部屋は大きな窓が2面あり、一部板の間がある畳敷きの和室で、思い思いの家具や装飾で個性的に使われている。トイレと洗面所がそれぞれに付いていることは、各自の生活に安心感と豊かさを持たせてくれる。対面式の台所に面しているのが和室となっているのが面白い。食事をここの人、椅子でする人、車椅子の人など様々な食事風景が見られる。</p> <p>和風の建物や装飾とともに、住む人達にも落ち着いた静かな雰囲気漂っているホームである。一方、ドライブなど趣味や希望に応じた外出を多く取り入れ、支援の柱の一つとしている。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>次のような提案をした</p> <p>障子の入った空間は柔らかい光がすばらしいが、昼間は自然光をもう少し採り入れて、外がもっと見える工夫をした方が開放感が持てると思う。</p> <p>家族とのつながりを持つため、情報誌などで発信したり、家族からホームへの手紙をもらうなどして、利用者と家族の一体感を導いてもらいたい。</p> <p>立地上、地域の人達との交流が難しいだろうが、地域のボランティアを導入するなど、ホーム側からもっと積極的なつながりを求めていこうにしたらどうだろうか。</p> <p>将来、職員や家族の託児所を設け、その子供たちとの交流も含めて、理想郷「きのこ村」ができると良いと思う。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>利用者が生きている喜びを感じて生活出来るように、「プライバシーが守れ、安心した空間」「本人の気持ちとペース」「本人のニーズに応じた外出」の3つの目標をスタッフで考え、これに沿って、最期までその人らしく生きられるような支援を心がけている。さらに終末ケアにも取り組もうとしている。最初の頃の利用者が考えたという、「きのこのき」を頭文字にしたホーム生活の気持ちが掲げられてあり、職員の思いが利用者に通じている表れだと感銘を覚えた。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>天然素材をふんだんに使った共同空間とトイレ・洗面付きの和風居室は、申し分のない空間。坪庭や庭木の植え込み、室内各所に配置された観葉植物や利用者のいけた生け花など、建物の内外ともに和風の落ち着いた雰囲気を作っている。</p> <p>家具や照明にも凝り、むしろ贅沢といえる生活空間である。浴室は一人の入浴に適度な広さで、車椅子の人のリフトも備えている。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>一人ひとりの経歴をよく把握して、優れた経験や得意なことを誉めてあげたり、会話やその日の日課に取り入れたいしている。また、個性の把握により、トラブル防止に向けて事前に対策をとっている。何か仕事をしてもらう時には「これ、お願いしてもいいですか?」というように敬語と丁寧な依頼語を使っている。</p> <p>トイレが自室にあるのはプライバシーの配慮としてとても良いと思う。</p> <p>トイレ誘導も自室へ誘うので、本人も周りの人も気にならなくて良い。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>利用者がゆっくり穏やかにいつまでもこのホームで安心して生活出来るように支えていき、ターミナルケアまでしっかりと見ていこうとしている。職員は、平等に責任を持ち、お互いの意思の疎通を図るために、全員が正職員という体制をとり、職員同士で話し合っ問題に対応している。理想のケアを追求し、全国の先駆者として常に介護レベル向上に努力し、研修の受け入れなど福祉関係への貢献度は大きい。グループホームとしては、地域の人との交流をもっと考えて頂きたい。</p> <p>特に地域の在宅で痴呆介護をしている人との交流、あるいは、地域の人が痴呆や介護に理解して頂くような啓発活動や講習会等を益々積極的にしていただき、グループホームと地域が一体となった活動を期待しています。</p>		